



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月25日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL <https://www.shimano.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 泰三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務管理部長兼経理部管掌 (氏名) 金井 琢磨 (TEL) 072-223-3254
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 2023年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	263,250	△13.3	53,908	△33.4	68,409	△25.7	50,378	△26.5
2022年12月期第2四半期	303,686	14.7	80,909	15.7	92,123	24.7	68,558	22.4

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 94,648百万円(△26.8%) 2022年12月期第2四半期 129,308百万円(71.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	556.81	—
2022年12月期第2四半期	750.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	890,633	817,908	91.7
2022年12月期	826,413	741,095	89.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 816,724百万円 2022年12月期 740,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	117.50	—	142.50	260.00
2023年12月期	—	142.50			
2023年12月期(予想)			—	142.50	285.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	△28.4	70,000	△58.6	93,000	△47.3	69,000	△46.2	763.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年12月期 2 Q	90,460,000株	2022年12月期	91,160,100株
2023年12月期 2 Q	56,289株	2022年12月期	531,034株
2023年12月期 2 Q	90,478,026株	2022年12月期 2 Q	91,329,328株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、混迷が長引くウクライナ情勢、インフレ抑制のための各国中央銀行による利上げや米国の金融不安などが世界経済の下押し圧力となりました。

欧州では、エネルギー価格の低下によりインフレ率が鈍化したことで、消費者マインドは低水準ながらも緩やかな回復基調を見せました。

米国では、米国債のデフォルトが回避された一方、政治の混乱を背景とした不透明感から個人消費は低水準となりました。

中国では、移動制限措置が撤廃されて以降、経済活動の正常化が進みました。

日本では、外国人旅行客の増加など社会情勢の正常化が進み、賃上げや財政出動と金融政策の緩和継続などが、景気の回復を下支えしました。

このような環境の下、自転車、釣具への需要は引き続き弱含みであり、当第2四半期連結累計期間における売上高は263,250百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益は53,908百万円（前年同期比33.4%減）、経常利益は68,409百万円（前年同期比25.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50,378百万円（前年同期比26.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

自転車人気の過熱感は一服したものの、長期的なトレンドとして自転車への関心は継続しました。一方で、引き続き需給調整は進んでいるものの、市場在庫は総じて高い水準で推移しました。

海外市場において、欧州市場では、春先の天候不順の影響もあり、完成車の店頭販売はやや低めで推移しました。市場在庫は全般的に高い水準で推移しました。

北米市場では、完成車の店頭販売は弱含みで推移し、市場在庫は高い水準で推移しました。

アジア・オセアニア・中南米市場では、自転車への関心は底堅かったものの、インフレ高進の影響を受けた消費者マインドの冷え込みにより、販売はやや低調に推移しました。一方、中国市場では、アウトドアスポーツとしてのサイクリング人気が続けられ、ロードバイクを中心に販売は好調に推移しました。

日本市場においては、円安による完成車価格の高騰などの影響を受け、販売は低調となり、市場在庫はやや高めに推移しました。

このような市況の下、「105」をはじめとしたロードバイク向け高級モデル全般、また、電動アシストスポーツバイクコンポーネントSHIMANO STEPSシリーズなどの製品にご好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は204,986百万円（前年同期比17.7%減）、営業利益は42,093百万円（前年同期比39.5%減）となりました。

② 釣具

釣具に対する世界的な高需要は落ち着いたものの、アウトドアレジャーとして改めて認知された釣りへの関心は継続しました。

日本市場においては、従来からのコアな釣り人の新製品購入意欲は衰えず、高価格帯製品の需要は底堅く推移しました。

海外市場においては、北米市場では、需要の落ち着きもあり販売は弱含みで推移したものの、欧州市場の販売は安定した需要に支えられ堅調さを維持しました。

アジア市場では、釣り文化の浸透と釣りへの高い関心を受け、経済活動の再開も相まって釣行機運が高まりを見せ、引き続き販売は好調に推移しました。

豪州市場では、良好な市況でスタートしたものの、需要の陰りから販売はやや停滞しました。

このような市況の下、新製品のスピニングリール「VANQUISH」や最高級モデルのルアーロッド「WORLD SHAULA LIMITED」などの製品に多くのご注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は58,027百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は11,843百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は236百万円（前年同期比4.9%減）、営業損失は28百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は890,633百万円(前連結会計年度比64,219百万円の増加)となりました。これは、現金及び預金が61,219百万円、商品及び製品が7,758百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が7,218百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は72,724百万円(前連結会計年度比12,593百万円の減少)となりました。これは、未払法人税等が6,892百万円、買掛金が6,484百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は817,908百万円(前連結会計年度比76,812百万円の増加)となりました。これは、為替換算調整勘定が43,060百万円、利益剰余金が21,033百万円、自己株式が11,588百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、484,638百万円(前連結会計年度比67,371百万円の増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、57,401百万円の収入(前年同期は48,615百万円の収入)となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益68,086百万円、減価償却費11,526百万円等によるものです。また主な支出要因は法人税等の支払額26,021百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,018百万円の支出(前年同期は13,698百万円の支出)となりました。主な収入要因は定期預金の払戻による収入9,624百万円等によるものです。また主な支出要因は有形固定資産の取得による支出8,473百万円、定期預金の預入による支出2,966百万円、無形固定資産の取得による支出2,776百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、19,361百万円の支出(前年同期は36,339百万円の支出)となりました。主な支出要因は配当金の支払額12,926百万円、自己株式の取得による支出4,897百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間において、依然として市場在庫は高い水準で推移する中、欧州市場における春先の天候不順で店頭販売はスローな出だしとなり、当社への下期需要の回復に遅れが生じる見込みとなったこと、また工場の減産が進む中、製造原価率の上昇を吸収することが難しい状況にあること、一方でドル高の進行に伴うアジア通貨安の影響から営業外収益が発生したこと等を踏まえ、次のとおり変更いたします。

2023年12月期 通期連結業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	460,000	83,000	96,500	69,500	768.79
今回修正予想 (B)	450,000	70,000	93,000	69,000	763.24
増減額 (B-A)	△10,000	△13,000	△3,500	△500	
増減率 (%)	△2.2	△15.7	△3.6	△0.7	
前期実績 (2022年12月期)	628,909	169,158	176,568	128,178	1,408.22

また、当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期から25円増配の1株当たり142円50銭とさせていただきます。なお、当期末の配当についても、1株当たり142円50銭とし、その結果当期の年間配当額は1株当たり285円を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	430,429	491,648
受取手形及び売掛金	55,201	47,982
商品及び製品	79,966	87,725
仕掛品	42,733	36,531
原材料及び貯蔵品	8,209	7,474
その他	12,523	13,780
貸倒引当金	△310	△409
流動資産合計	628,754	684,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77,239	78,175
機械装置及び運搬具(純額)	25,600	27,602
土地	13,936	14,190
リース資産(純額)	5,205	5,563
建設仮勘定	18,749	20,300
その他(純額)	6,513	6,747
有形固定資産合計	147,244	152,579
無形固定資産		
のれん	3,065	3,107
ソフトウェア	10,059	10,406
その他	6,716	7,465
無形固定資産合計	19,841	20,979
投資その他の資産		
投資有価証券	19,694	21,694
繰延税金資産	6,728	6,242
退職給付に係る資産	2,645	2,529
その他	1,941	2,314
貸倒引当金	△436	△439
投資その他の資産合計	30,573	32,340
固定資産合計	197,659	205,899
資産合計	826,413	890,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,595	14,110
短期借入金	2,151	1,304
未払法人税等	21,899	15,007
賞与引当金	3,682	2,698
役員賞与引当金	198	99
その他	30,081	31,947
流動負債合計	78,608	65,168
固定負債		
繰延税金負債	2,522	3,040
退職給付に係る負債	1,210	1,376
その他	2,976	3,139
固定負債合計	6,709	7,556
負債合計	85,318	72,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,640	5,640
利益剰余金	638,141	659,174
自己株式	△12,909	△1,320
株主資本合計	666,485	699,107
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,537	4,470
為替換算調整勘定	70,085	113,145
その他の包括利益累計額合計	73,623	117,616
非支配株主持分	986	1,183
純資産合計	741,095	817,908
負債純資産合計	826,413	890,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	303,686	263,250
売上原価	175,735	159,819
売上総利益	127,951	103,431
販売費及び一般管理費	47,041	49,523
営業利益	80,909	53,908
営業外収益		
受取利息	1,137	8,397
受取配当金	330	443
為替差益	10,473	6,618
その他	452	421
営業外収益合計	12,393	15,881
営業外費用		
支払利息	69	115
寄付金	746	616
自主回収費用	194	503
その他	168	144
営業外費用合計	1,179	1,379
経常利益	92,123	68,409
特別損失		
減損損失	611	-
子会社再構築費用	474	-
子会社株式売却損	90	-
工場建替関連費用	664	323
特別損失合計	1,840	323
税金等調整前四半期純利益	90,282	68,086
法人税、住民税及び事業税	23,006	17,159
法人税等調整額	△1,401	444
法人税等合計	21,604	17,604
四半期純利益	68,678	50,482
非支配株主に帰属する四半期純利益	119	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,558	50,378

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	68,678	50,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355	933
為替換算調整勘定	60,274	43,233
その他の包括利益合計	60,630	44,166
四半期包括利益	129,308	94,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,057	94,372
非支配株主に係る四半期包括利益	250	276

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	90,282	68,086
減価償却費	10,231	11,526
減損損失	611	-
受取利息及び受取配当金	△1,468	△8,840
支払利息	69	115
為替差損益(△は益)	△8,204	△4,947
売上債権の増減額(△は増加)	△7,076	9,179
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,355	6,098
仕入債務の増減額(△は減少)	△804	△7,132
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	116
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△309	24
工場建替関連費用	664	323
子会社再構築費用	474	-
子会社株式売却損益(△は益)	90	-
有形固定資産除売却損益(△は益)	26	2
未払賞与の増減額(△は減少)	1,868	1,898
その他	425	△1,190
小計	73,525	75,259
利息及び配当金の受取額	1,147	8,291
利息の支払額	△76	△128
法人税等の支払額	△25,981	△26,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,615	57,401
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,678	△2,966
定期預金の払戻による収入	194	9,624
有形固定資産の取得による支出	△8,395	△8,473
無形固定資産の取得による支出	△3,349	△2,776
工場建替関連費用の支払額	△211	△389
投資有価証券の取得による支出	△3,000	△265
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	4,867	-
その他	△126	228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,698	△5,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,346	△973
長期借入金の返済による支出	△5	-
リース債務の返済による支出	△495	△546
自己株式の取得による支出	△21,685	△4,897
配当金の支払額	△10,804	△12,926
非支配株主への配当金の支払額	△2	△74
その他	1	55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,339	△19,361
現金及び現金同等物に係る換算差額	50,276	34,349
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	48,853	67,371
現金及び現金同等物の期首残高	357,773	417,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	406,627	484,638

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2022年4月26日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、2023年3月14日に普通株式227,600株を取得しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増も含め、当第2四半期連結累計期間において自己株式が4,897百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2023年4月25日開催の取締役会決議に基づき、2023年5月2日に自己株式700,100株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が16,429百万円、自己株式が16,429百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	249,203	54,235	248	303,686	—	303,686
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	249,203	54,235	248	303,686	—	303,686
外部顧客への売上高	249,203	54,235	248	303,686	—	303,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	249,203	54,235	248	303,686	—	303,686
セグメント利益又は損失(△)	69,581	11,335	△7	80,909	—	80,909

(注)1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	204,986	58,027	236	263,250	—	263,250
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	204,986	58,027	236	263,250	—	263,250
外部顧客への売上高	204,986	58,027	236	263,250	—	263,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	204,986	58,027	236	263,250	—	263,250
セグメント利益又は損失(△)	42,093	11,843	△28	53,908	—	53,908

(注)1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。